

ふーッ……ふーッ……おまんこアナル気持ちいい……！
重くて苦しいのに……体痛いの……ッ！
私……気持ちよくなってる……！だめ……違う……ッ！
こんなので気持ちよくなったらだめなの……！
うう……でも……もつと気持ちよくなりたい……早く誰か座ってほしい……
いや駄目ッ！そんなこと考えちゃ……！



ううっ……重い……苦しい……ッ！お願い誰か助けて……
こんなポーズで……もうずっとこのままなの……ッ！
拘束全然外れなくて逃げられない……ッ！
今日まだ誰にも座られてないのに……もう何回もイカせてる……！
こんな惨めにモノ扱いされてイカされるのもう嫌あ……！
誰か……誰かあ……ッ……！

誰か来た…しかも二人も…二人に座られたらパイプの振動
めちゃくちゃ強くなるかも…
ああ…期待してる…だめってわかってるのに…
子宮の奥がきゅんきゅんしてる…！
お願い…座って…！

ああ…ひ…人が来た…しかも二人で…ッ
だめ…座られたらパイプの振動が強くなっちゃう…
確実にイっちゃう…！お願い…座らないで…！



ああああ…ッ！！重い重い重い…！！
 こんな耐えられないからあ…！！
 お願いどっか行つてよおお…ッ！！
 子宮潰されてめちやくちやにかき回されてるのお……ッ！！
 やだやだ…こんなのでイきたくない……！！

いっ…イく…!!うう…ッ!だめだめ…これやばい…ッ!
重くて苦しいのに…ッ!バイブ強すぎて…気持ちいい…ッ!
こんなの何回もイっちゃうう…ッ!椅子みたいに座られて…
酷い扱いされてるのに…ッ!
おまんこ気持ちよくなっちゃううう…ッ!!

ギク

ギク

24-10

んお……!

ん？！

#4

かしゃー♡

んぐ！

ん？

1時間後…

うう…うう…ッ！…これやばい…ッ！
ずっとイキっぱなしになってる…ッ！
気持ち良すぎて体がクガクガ止まらない…ッ！
イク…イクうう…ッ！…

お願い…もっとうてよお…！
もっとうと座られてて苦しいの…ッ！
ずっと子宮の奥ぐりぐりえぐられてるの…ッ！
だめだめまたイクうう…うう…ッ！…





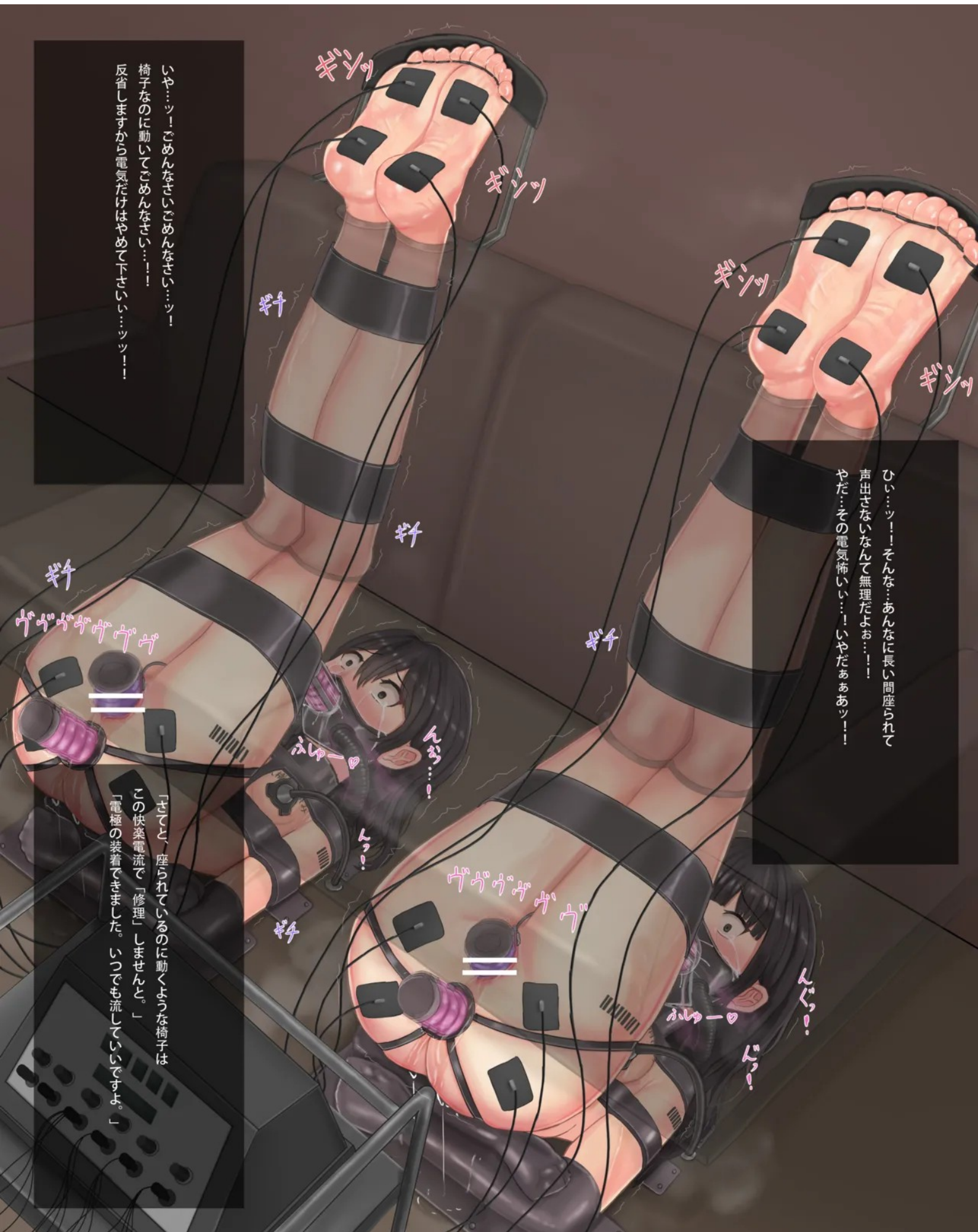
「ねえ、なんかこの椅子、さつきから動いてない？ うめき声も聞こえるし…。」
「確かに。仕方ない、別の作品見に行こっか。」
「そっだね。他にも見たい作品いっぱいあるし。」
「あ、その係員の人。この椅子なんか動いてるんだけど。直しといてもらえる？」

「かしこまりました。」
「私どもの方で修理しておきます。」

いや……ッ！ごめんなさいごめんなさい……ッ！
椅子なのに動いてごめんなさい……ッ！
反省しますから電気だけはやめて下さい……ッッ……ッ！

ひい……ッ！……ッ！そんな……あんなに長い間座られて
声出さないと……無理だよ……ッ！
やだ……その電気怖い……ッ！いやだああッ！……ッ！

「さてと、座られているのに動くような椅子は
この快楽電流で「修理」しませんと。」
「電極の装着できました。いつでも流していいですよ。」



うあ。あ。あ。ッッッ!! あああああ!!
いめんないいめんないいっ……!!

ひいぎやあ。ああ。ッッッ!!?
いだいだいだいいいッッ!!
あしのうらやげちやうつうう……!!

バチンッ!! バチバチッ!!
「あーあ、こんなに体をガクガク震わせて。
これはちゃんと修理しないとイケませんね。」



んいあああッッ!! ああ。ああ。あッッ!!
ちゃんと椅子になりますからあああッッ!!
もう電氣流すのやめてくださいいいいッッ!!

いぎやあああッッ!!
イグイグイグうううッッ!!
いだぐでぐるじいのに全身でらうでめうううッッ!!

「さらにパイプの振動もフルパワーにしましょうか。」



うう……ローションガーゼ……？
まつ……まつて……ッ！……それいなの……ッ！……
すっごく辛いのお……ッ！……

えっ……媚薬……ッ？……ひっ……ッ！……？
やだ……それやだ……ッ！……

「では、このローションガーゼで拭いていきましようか。
強力な媚薬をたっぷり染み込ませているので、
たとえ性感帯じゃない部分でも触れただけで
イってしまいますからね。」

ぬるおっ♡



んいいいいッッッ!!...これだめえ...ッッ!
足の裏おかしくなるう...ッ!!
そこ性感帯じゃないのに
気持ち良すぎるのおおお...ッ!!...

いやあああッッ!!...
こんなのくすぐったすぎるううッッッ!!...
足の指逃げたいいいいいッッ!
足の裏防ぎたいいいいいッッ!!...

「足の裏は来館者様が直接触れる部分ですから、
特に綺麗に磨かないといけませんからね。」
「必死に逃げようと足をぎゅってさせていますね。
足の指、一本一本拘束されてるから逃げれませんよ。」

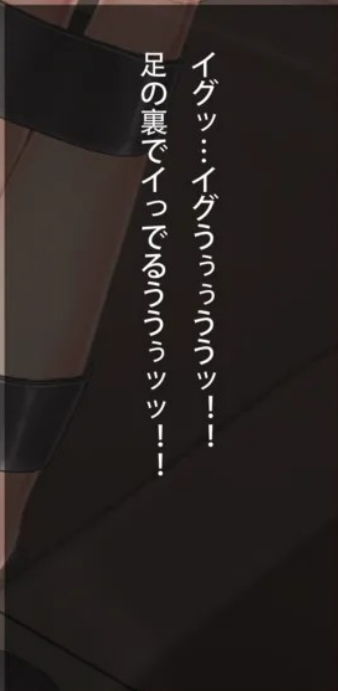
いやあああッッ!!
こんなのくすぐったすぎるううッッ!!
足の指逃げたいいいいいッッ!
足の裏防ぎたいいいいいッッ!!

んい　い　い　ッ　ッ　!!　!!　!!　これだ　め　え　…　ッ　ッ　!!
足の裏　お　か　し　く　な　る　う　…　ッ　!!
そ　こ　性　感　帯　じ　ゃ　な　い　の　に
気　持　ち　良　す　ぎ　る　の　お　お　お　…　ッ　!!

「足の裏は来館者様が直接触れる部分ですから、特に綺麗に磨かないといけませんからね。」

「必死に逃げようと足をぎゅってさせていますね。足の指、一本一本拘束されてるから逃げれませんよー。」

んい い い い い い い ツ ツ ！ ！
あ あ あ あ あ ツ ツ ！ ！ イ つ で る ツ ツ ！ ！
イ つ で る が ら あ あ あ ツ ツ ！ ！
も う や め で え え え ツ ツ ！ ！



イグッ…イグううううッ!!
足の裏でイッてるううッ!!

四人に乗られて…しかも上で…するってこと…ッ！？
そ…そんな…そんなの無理……！！
いやああああ………！

えっ…座るって…それってまさか…！

「さてと、拭き掃除も終わりましたね。」
「おい、その二人」
「はい」「いかなさいましたか？」
「作品を鑑賞するから、ちょっと相手をしろ。」
「ちょうどその椅子が空いているな。そこに座るから跨がってもらおうか。」
「承知いたしました。」

